

ロン酸の前駆体が増加することを見出した。これにより、CCN2は毛細血管にもペリサイトを紹介したアプローチが可能な遺伝子であるということを確認した。また、CCN2の発現量は年齢と相関関係がなく、どの年代の人でもアプローチ可能な遺伝子であることも明らかにした。

さらに、CCN2の遺伝子発現を促進する上で有用な成分を探索したところ、チャノキの葉エキスをCCN2の発現促進効果を見出した。このエキスをよって、CCN2の発現促進を介して毛細血管、真皮や肌構造へアプローチし、年齢に関わらず、美しく健やかな肌の表現を目指す。